

農山漁村等地域の情報収集を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

 (5) 食農教育等を通じた地域貢献とJAバンクの認知度向上
JA京都市（京都府）

新規	継続
	○
	(2014年)

1 動機(経緯)	「見て」・「触って」・「味わう」を通じて農産物をもっと知ろうをコンセプトに地域貢献およびJAバンクの更なる認知度向上を図ることを目的として、2014年度より開催されています。
2 概要	組合員、員外を問わず、地域住民を対象として野菜の即売会や京野菜グルメフェアと併せて、JAバンク協調型事業イベントとして開催しているものです。 イベント内では農業や金融に関する学習ブースや体験ブース（野菜の苗植え等）等、様々なブースを展開しており、府内JAおよび連合会が連携協力しています。 また、2018年度（7月15日実施）は、京都水族館や地元の大学、高校と子どもを対象とした「食農教育コラボ企画」を実施しており、地域とのより深い「つながり」を築くことができました。
3 成果(効果)	子どもから高齢者まで、幅広い世代の方が合計約33,000人来場されました。（2018年度） また、各種キャンペーンのPRイベントおよび相談ブースが設けられていたこともあり、開催前と比較して、お客さまからのキャンペーン等の問い合わせ件数が増加しました。
4 今後の予定	年々、来場者数も増加しており、PR効果も高いことから、2019年度についても、来場者の満足度および幅広い年代層に対するJAバンクの更なる認知度向上を目指して、農業体験やブース展開、趣向を凝らしたイベント計画を検討していきます。